



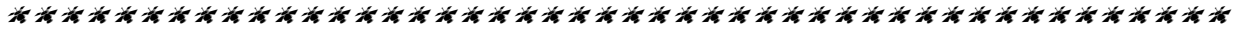
とつか
2017年5月会報 第271号

- 2016 国際会長(IP) Joan Wilson (カナダ)
主 題 “Our Future Begins Today” 「私たちの未来は、今日から始まる」
スローガン 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao (台湾)
主 題 “Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川 越)
主 題 「明日に向かって、今日動こう」 “For the Future, Act Today!”
2017 スローガン 「手を取り合って、今、行動！」 “Together, Let's Roll Now!”
湘南・沖縄部部長 若木 一美 (横浜とつか)
「あなたが退会しない理由は？」 ～明るく・楽しく・元気よく～
クラブ会長 浦出 昭吉 「初心に帰ろう、グッドスタンディング目指して」
副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 小俣 妙子
主 題 ネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄

江戸のおもかげを残す
川越

これまでの20年
温故知人
明日に向かって新しい出合いを
ワイズメンズクラブ国際協会
第20回 東日本区大会
2017年6月3(土)・4(日)
会場：ウエスタ川越

ホストクラブ：川越ワイズメンズクラブ
協力クラブ：埼玉・所沢 各ワイズメンズクラブ
後 援：川越市
川越商工会議所・(社)小江戸川越観光協会
(公財)埼玉YMCA



会長ひと言

浦出 昭吉

～こども君主論～

お子さんやお孫さんのための本探しをなさる方には、今更耳新しくもないお話かもしれませんが、いま、子どもの本の世界で、齋藤孝明治大学教授監修の名著「こども訳シリーズ」が新聞や雑誌で採り上げられ話題になっており、その第1弾の「こども孫子の兵法」と第2弾「こども菜根譚」が、すでに15万部を超えるベストセラーになっているとか…。

さらに、現在、その第3弾「こども君主論」が本屋さんの店頭で盛況の様ですが、「君主論」の著者のマキャベリさんもびっくりというくらい小学生にも理解できるよう書かれています。「だいじなのは、自分で決めること。どっちつかずの態度では、なにももうまくいかないよ。」「成功している人は、ちっぽけな見栄なんてはらないよ。」などなど…。

私たちが自分自身に言い聞かせたり、周りの大人に言ってやりたいことが満載。是非一度、お子さんやお孫さんへの本を探すフリをして立ち読みされてみてはいかがでしょうか、案外、本当に心にしみる名著なのかもしれませんよ…。

それと、私たちはワイズですから、少しばかり50年後、100年後を見据えた日本、いやワイズの将来が案外手近かなところにあることが解ったりして…、といったような副産物ともいうべきものまで発見できるかもしれませんね…。

◎今月の聖句◎

平和を実現する人々は、幸いである。
その人たちは神の子と呼ばれる。

—マタイによる福音書5章9節—

平和について、聖句の中でも有名な箇所です。‘平和’を語る時、必ず引き合いに出される聖句ですね。

家族の平和も、社会の平和も、そして世界の平和も、まず、自分の心の平和から始めることが前提ですと、主は教えております。では‘心の平和’って何でしょう。私たちが、それぞれの心の中で平和について考え・行動に移すこと、例えば、人には親切に、時には自分を殺してでも他との交わりを大切にすること、そして、更にその交わりを周りに広げ、またその努力をすること、これが心の平和への道…と説いています。

強調月間 EF/JEF

EFはEndowment Fundの略、国際ワイズダム発展のための特別基金で、個人・クラブを問わず記念すべき行事の際に寄付金として国際に送る活動。一方、JEFはJapan East Y's Men's Fundの略で、東日本区ワイズ基金と訳し、いわばEFの国内版ともいうべき性質のもの。

なお JEF に関し、是非 本号末尾をお読みください。

4月在籍者数			4月出席者数			出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・	Y	E	S	ロ	バ
メ	ン	13	メ	ン	10	85%	他	(円)		(g)		A	S	F	(円)		(円)
メ	ネット	9	メ	ネット	3		前	月	迄	0	0	0	0	0	0	0	12000
			ゲ	スト	ら	6	当	月		0	0	0	0	0	0	0	11,000
計		22	合	計	19		累	計		0	0	0	0	0	0	0	23,000

☆ 第1 (兼、第2) 例会～竹の子例会～報告 ☆

浦出 昭吉

日時： 2017年4月15日(土) 11:00～16:00

場所： 吉原 訓ワイズ邸

出席者：(ゲスト) 福島多恵子さま・渡辺慶子さま・杉本允子さま
(ビジター) 金子 功ワイズ・千葉裕子ワイズ・鈴木 茂ワイズ
(メン) 浦出・長田・加藤・小俣・佐藤・鈴木・土方・吉原・若木
(メネット) 加藤・吉原・若木 計) 18名

今年の‘竹の子例会’は上記のような顔ぶれが集まり

風が少々強めながら上天気の中、開かれました。

さて、‘堀り組’は千葉、鈴木両ワイズに私も仲間に加えてもらい、服装を整え車の運転するトラックに便乗、途中から金子ワイズも加わり、奮闘小1時間、額の汗を拭うころには写真の様な竹果？を得て意気揚々 ご帰還と相成りました。

待ちかねたように 手入れの行き届いた芝生にはテーブルとイスがセットされ、小俣ワイズの司会で例会が始まりました。開会の挨拶、ゲスト・ビジター紹介の後報告・連絡事項の伝達等(別掲)、また千葉ワイズからは先だつての鎌倉クラブ記念例会お礼のお言葉もあって、いよいよお待ちかね、金子ワイズの乾杯の発声をもって会食タイムに入りました。

メインディッシュは申すまでもなく‘竹の子’中心の和え物や交ぜご飯、お吸い物から煮物… と豊かさこの上なしのお献立、加えて有志の皆さんから差し入れられた飲み物やお菓子なども添えられ、多少のアルコールもお仲間入りして、日頃の交わりが一段と加速されたようなひと時となりました。



久しぶりにお会いする福島メネットは 以前と少しも変わらずのお顔付きで、交わすお話にも 自然と熱が入ります。また お願いして わざわざお出でいただいた杉本さん、‘特別メネット’を降りられ、ワイズのグループからお離れになられたとはいえ、鎌倉のご自宅からお一人で見えられ、‘やはりお呼びして良かったな…。’と思いました。また、元メンの渡辺慶子さん、昨年11月のYMCAバザー以来ですが相変わらずの行動力でした。気になるご主人様のご健康、1日も早いご快癒をお祈りします。それから、担当主事の長田さん、地区センターの責任者ということで、私たちがらみれば‘二足のわらじ’とも取れる精力的なお働きにただただ驚き 感謝する日々です、お世話になります。頃合いあって、もう閉会…と 名残り尽さない‘集まり’も予定した時刻となり、全員 お土産を手在家路に就きました。



☆ ‘竹の子例会’に参加して☆

福島 多恵子

(福島様から原稿を頂きました。

ありがとうございました。)

「竹の子例会も毎年やってるよ…。」と誘われた加藤メネットにお願いして、即座に参加の申込みをしました。

当日、戸塚駅前に集合し吉原邸に到着、美しく手入れされた広いお庭には 既に数名の方が手料理ご持参で

参集、有志は筒掘りにアルジの車で裏山に出掛けられました。

馥郁としたお香も焚かれての歓迎ぶりに感激、綺麗な芝生の上に並べられた丸テーブルと椅子に着席し 例会は 連絡事項を中心に進められ、引き続き お食事タイムとなりました。

掘り立ての柔らかく、そして適当な歯応えと風味の筍の煮物、それにお肉や玉子のお料理…とお箸は迷います。どれもこれも美味しい！広々とした緑いっぱいのお庭を眺めながらのお食事にこの上ない幸せを感じました。初めての方々とも楽しいお話をしましたが、杉本メネットに久しぶりにお会いできたことが殊のほか嬉しく、そして杉本メンを懐かしく思い出しました。

行き届いたホスピタリティに感動し、とつかクラブの原動力はこんな所でも培われているのだろうか…と思いました。

帰りのお土産にも筒を頂戴し、嬉しさ一杯のひと時でした。吉原メンにメネット様、そして皆様、ありがとうございました。



☆第2 例会報告☆

小俣 妙子

(日時・場所・出席者は上記に同じ。)

報告・連絡事項 (一部 後記‘こよみ’と重複あり。)

- ① 鎌倉クラブ 25 周年例会：3/25・鎌倉市福祉会館
- ② 部則検討委員会：4/1・湘南とつかYMCA404 号室
- ③ 災害復興支援ナイター：4/14・横浜スタジアム (別掲)
- ④ 横浜北 YMCA 創設 40 周年礼拝：4/23 現地 YMCA
- ⑤ 富士山 YMCA 創設 10 周年礼拝と感謝会：5/13
- ⑥ 第 6 回オープンフォーラム・Y：5/14・東京都内
- ⑦ クラブ第 2 例会：5/16・湘南とつかYMCA201 号室
- ⑧ 湘南とつかYMCA 運営委員会・リーダー交流会：5/20
- ⑨ 横浜クラブ研修会：5/26-27・森の家
- ⑩ 竹内敏郎さんお別れの会：5/27・熱海 YMCA
- ⑪ 横浜 YMCA 会員総会：5/27・湘南とつかYMCA 協議 ほか

① 東日本区大会参加の件

参加希望の方で未登録の方は、手続きされたい。追って、登録の〆切日が4月末日まで延長された。

② 次年度名簿 (ロースター) の件

加除原稿の閲覧等を希望する方は、至急、加藤書記までお申し出ください。

③ 5月号ブリティンの原稿を それぞれに依頼した。

なお、5月第1例会は連休中であるのでワンパスとする。(以上)

☆富士山YMCA10周年に思う☆

加藤 利榮

2007年に活動を始めた富士山YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジがこの5月で10周年を迎え、その感謝の礼拝が13日、現地で行われる旨のご案内がありました。

手許にある2007年6月号のクラブ会報‘富士山YMCA 献堂式に出席して’の

小文によれば、『…5月19日、式典の始まる前まで降り続いた雨も上がり、背後の富士が額縁を嵌めたように眼前に浮かび上がって、集まれる50余名のワイズ諸氏も一斉に感嘆の声を挙げ』た様子が描写されております。思えば、2005年7月に募金委員会がキックオフし、私もその一員に選ばれていた関係で、折からのパブル崩壊後の厳しい情勢下ながら 鋭意活動が推進された結果、トータルで建物建設資金のほぼ50%が寄せられ、会員・職員らの祈りとその情熱を 今更ながら体感させられたことでした。

その後、7年経った2014年10月には、横浜YMCA130周年を記念し韓国・光州YMCA、中国・上海YMCAから‘平和の鐘’が贈られました。鐘には、「すべての人を一つにしてください。」の聖句が英文で彫られており、福島県いわき市の「小島保育園」の子どもたちが一番初めに鐘を響かせてくれたとのことでした。平和の願いが響きますように、また 平和を創る人になりますように…。

そして富士山YMCAの44万㎡(約13万3,600坪)の施設が名実ともに100年後を見据えた未来の子どもたちを育て、地球環境を守っていくことのできる拠点となるよう 私たちワイズメンも及ばずながら支えていきたいと思ひます。



☆入会式に立ち会って☆

若木 一美

横浜つづきクラブに入会される胡麻尻眞佐さんの入会式の立会いをいたしました。胡麻尻さんは神戸生まれの神戸育ちで、3年前に亡くなられたご主人の転勤で横浜に移られたとのことでした。

お住いの近くに辻さんがおられ、バス停で辻さんが声を掛けられたとか…。とつかクラブでもご近所さんにお声を掛けると入会していただけるかも？ でも紳士の辻さんならOKでも私だと‘おれおれ詐欺’や‘変なおじさん’に間違えられてしまいそうですね、お声掛けは慎重になさってくださいね。

つづきクラブには 神戸ご出身の会員の方が多いので 共通する話題も多く、懇親会の席上でも 胡麻尻さんは楽しそうにお話をされておられました。

胡麻尻さんは、ボランティア活動は昔 参加されておりましたが、近年は眼や脚のご病気があるので、例会のほか参加できる事業だけに出席されるとのことでした。

入会式は厳粛に執り行われましたが、ふっと思ったことは、60歳台以下の世代が観たら、どう受け止めるかな、あの方式に賛同しますか？ その答えはいかになるかなと思ひました。



つづきクラブ 辻ワイズご親

☆ともに明日へ☆

長田 光玄

～横浜YMCA 熊本・東北復興支援ナイター～

4月14日(金)、今年も横浜スタジアムにて標題のテーマで、横浜 DeNA ベイスターズ vs 東京ヤクルトスワローズの公式試合が行われました。前日は東北から北海道にかけて季節外れの吹雪に見舞われましたが、試合当日は関東地方は少し風が吹いていましたが、まずまずの好天のもとプレイボールとなりました。

始球式は、家族で自主避難をしている高校生でした。毎年、このイベントに参加していて、念願かなっての始球式となりなした。また、両チームの選手へのプレゼンターは小学生の男子と女の子が大役を担いました。待っている間にラミレス監督がやってきて3人にサインと記念撮影をしてくれました。一生の思い出となったことでしょう。両チームへのプレゼントは、昨年の福島県の郷土玩具『赤べこ』に続き、今年はベイスターズカラーの青に塗られた『福べこ』でした。昨年はこの『赤べこ』をプレゼントして以来、ベイスターズは調子を上げてクライマックスシリーズへと進出しました。今年もこの日を機会に調子を上げてほしいと願っていました。試合は、1回裏に桑原選手の先頭打者ホームランに始まり、ヤクルト・バレンティン選手の活躍もあって一進一退を繰り返し、延長戦で迎えた10回裏、ベイが得点！ 今季初のサヨナラ勝ちとなりました。



地震発生から1年経ったこの日、‘風化させない’‘次に繋ぐ’ ☆ともに明日へ☆…横浜YMCA のこの取組みをこれからもワイズの皆さんと共に進めていきたいと思ひます。

【陋有想】

加藤 利榮

以前から とつかクラブとブリティンのやり取りしているクラブの一つに 京都キャピタルクラブがあります。その4月号『こないことしてました』コーナーに岡本尚男さんが執筆されておられるのが目に入りました。その中で、「…私は1998年11月から2016年1月までの18年間に、保護観察19件、生活環境調整24件を担当しました。(中略)この間の保護司体験では43人の対象者やその家族に出会い それなりの苦労もありましたが、色々な人生模様を見ることができました。…」と書かれ、様々な事情から受刑者や刑余者となり、彼らが一日も早く社会復帰するための橋渡し役といった誠に困難な仕事を担ってこられた彼に まずもって敬意を表した次第です。

さて、この司法保護が公に制度化されたのは、今から80年近く前の1939年(昭14)ですから、歴史的にはそれほど古くはありません。それ以前は 主にキリスト者を含む宗教団体などが個別に行っていましたが、いわゆる‘刑余者にも光を’ということから、国の施策として定着したといわれています。ことほど左様にご苦勞な仕事ながら、保護司には報酬はなく、まったくのボランティアです。彼も書いておられるように、‘保護司のなり手不足が顕在化している’のが現実のようです。

当方も、先ごろ来の17年間、民事調停委員・司法委員を務めた関係で 特段の関心をもって読ませていただきました。

☆YMCA だより☆

施設長・担当主事 長田 光玄

地域とともに 40年～横浜北 YMCA40周年記念会～

1977年 横浜 YMCA2 番目の会館として菊名に「横浜北 YMCA」が設立されました。今年で40周年を迎え、記念会が施設内の3階スタジオにて行われました。第1部では感謝礼拝として恵泉女学園キリスト教 教育主任の宇野 緑牧師より説教がありました。ご本人のYMCAとの関わりや今までとこれからのYMCAの地域での役割を分かりやすいお言葉で伝えていただきました。YMCAの正章にあるヨハネによる福音書17章21節の「すべての人を一つにしてください」を引用し、あらゆる人たちをつないでいくのがYMCAの役割だとお伝えいただきました。第2部では元横浜YMCA総主事・初代横浜北YMCA館長の吉村村 恭二さんの乾杯から始まりました。設立当初のお話には多くの方々がうなずいていらっしやいました。過去・現在の運営委員・館長・スタッフが集まり、これから横浜北YMCAが50年・100年に向けて進んでいくための爽やかな会でした。

湘南とつか YMCA と横浜とつかワイズメンズクラブは2019年が設立25周年になりますね…。



☆今月の歳時記から☆

‘若葉わかば’ と ‘蠅はえ’

‘若葉’、5月になると木々は新鮮でみずみずしい若葉をつけます。柿、椎、榎、樟などの若葉はとりわけ緑が美しい。新入生は、まだ慣れない学園生活であっても、校庭に植えられている木々の若葉を見て 入学の喜びを再び噛みしめるのもこの頃でしょうか…。

若葉して御目の雫ぬぐはゞや	芭蕉
不二ひとつづみ残して若葉かな	蕪村
わらんべの洩もわかばを映しけり	犀星
連休明け若葉漲る御堂筋	勇
盛りあがる若葉が天守押し上げて	清女

次に‘蠅’、もっとも嫌われるうるさい昆虫ですね。屋内に多いのは家蠅で、食べ物や人体にぶつかってしつこい。うるさいことの譬えを五月蠅(さばえ)といっています。山や野原などで見かける蠅は大きく、鈍感だとか。蠅は汚いだけでなく、病菌を運ぶので駆除が必要となります。

うき人の旅にも習へ木曾の蠅	芭蕉
生創に蠅を集めて馬帰る	三鬼
夕餉待つ眼悲しく蠅を打つ	源義
川風にさばえなす神うち祓え	浪雨

(中)



☆5月・6月のこよみ☆

- 5/13(土) 富士山 YMCA 設立10周年式
- 5/16(火) 第2例会: 同(201号室)・18:30～
- 5/27(土) 横浜 YMCA 会員総会・18:30～
- 6/3(土)-4(日) 第20回東日本区大会・ウエスタ川越
- 6/6(火) 第77回Y-Y's協議会・19:00～
- 6/24(土) 第3回部評議会・研修会

～5月会合のご案内～

5月16日(火) 第2例会 : 事務会

- ◇ 川越大会、その他重要事項の打ち合わせを行います。
- ◇ 第1例会は 連休中のためワンパスします。

～HAPPY BIRTHDAY～
(該当者なし)

【掲示板】

会長

◎ 第3回東日本区役員会開かれる。

4月8日(土)・9日(日)の二日間にわたり、標題の会合が埼玉県川越市内で開かれ、部長の若木ワイズが参加されました。例年、4月に開かれる役員会は現・次期役員が一堂に会することで意味のある会議となっております。その模様などは、追って部長から報告があると思います。

◎ 部則検討委員会開かれる。

4月1日(土)18:30～20:00・湘南とつか YMCA 404号室において標題の会合が若木部長の招集により開かれ、現行部則の検討を行いました。

検討の結果は、追って部評議会の議案提案の形で上程・審議される予定です。

◎ ‘JEF 献金’ のおすすめ

標題の件について、昨年11月23日付け「ワイズ野球ファン感謝献金へのお誘い」と題するメールが Y's コムを通じ、全国のワイズ関係者あてに送られました。

ここに再度、確認の意味で要約したものを記します。

発端: 昨年、日本ハムファイターズが日本シリーズを制し日本一になり、北海道4クラブからこれを記念し、JEFに4万円の献金がなされた。

発起人: 藤井寛敏・清水弘一・青木清子・加藤利榮

口数: 一口 1,000円

期限: 本年5月末(すでに、西日本区を含め 全国ワイズから多数の申し込みあり。)

その他:

△6月の川越大会の席上、利根川理事に贈呈する。

△加藤ワイズが発起人の一人になっている関係上、クラブの皆さんも奮ってご参加ください。

△個人ごとに口数を加藤ワイズ宛ご申告願います。

△期限までに 一覧表を添え、提出します。

(後記)

一年で一番過しやすい季節、ワイズ活動にも身の入る時期ですね…。 (T/K)